実験廃棄物搬入における注意事項(岡山キャンパス)　水質管理室（内線　2412、2414）

身支度	・白衣または作業着を着用（ない場合は、露出が少なく汚れても良い服を着用） ・必要な場合は保護眼鏡及び手袋等を持参する（水質管理室で貸出可能） ・ドラム缶への移し替え作業をする場合、髪の毛が長い人は髪の毛をくくる ・廃棄物搬入時の転倒と、転倒による廃棄物汚染を防ぐため、 足の甲が覆われ、つまづいて転倒しない段差のない靴を着用する 【奨励】スニーカー　　【禁止】サンダル（クロックスも該当）、ヒール、スリッパ
廃棄物と併せて持ってくるもの	・水質管理室で配布した『安全袋』 ・各種申請書（水質管理室のHPよりダウンロード） ※薬品が付着していない廃プラスチック・廃ガラス・乾電池の搬入時は申請書必要なし
廃液	・廃液の容量は容器の８割までとする ・容器に破損・液漏れが無いか確認する ・容器の蓋にパッキンや中蓋があることを確認する（パッキンや中蓋を紛失すると、蓋から液漏れするため） ・容器にガムテープを張り、次の事項を記載する　※金属含有廃液に限る(可燃性有機廃液、含ハロ・含水有機廃液は対象外) ①搬入日　②所属　③内容物詳細　④pH　⑤重量　※pHと重量は搬入時に量る （処分業者へ搬出する際に、申請書と廃液を照合する必要があるため） （保管時に問題が発生したり、処分業者から問い合わせがあった際に、調査する必要があるため）
薬品・金属付着物 （紙・プラスチック・ガラス・シリカゲル等）	・内容物が飛散しないよう対策を講じ搬入する ・厚手のビニール袋が必要な場合は、事前に水質管理室に取りに来る ・搬入容器に次の事項を記載する ①搬入日　②所属　③含有金属の種類等内容物詳細　④重量　※重量は搬入時に量る （処分業者へ搬出する際に、申請書と廃棄物を照合する必要があるため） （保管時に問題が発生したり、処分業者から問い合わせがあった際に、調査する必要があるため）
薬品が付着していない廃プラスチック	・袋に研究室名を明記する ・使用済みの容器は洗浄し(試薬等が付着したまま廃棄しない)、蓋が外してあるか確認する ・搬入に使用する袋、段ボール等に穴が開いていないか確認する
薬品が付着していない廃ガラス	・使用済みの容器は洗浄し廃棄する(試薬等が付着したまま廃棄しない)。 ・中身が割れたり飛散しない搬入容器に入れる（一斗缶、厚手のビニール袋）※回収容器は水質管理室で提供可 ・ガロン瓶はそのままの状態で搬入（敢えて割る必要はない）
乾電池・バッテリー	・アルカリ電池、マンガン電池、ニッケル水素電池、ニッケルカドミウム電池は混合しても良い ・リチウムイオンの電池・バッテリーと、鉛蓄電池のバッテリーは他の電池と分別する ・小型充電式電池（リチウムイオン電池、ニッケル水素電池等）、ボタン電池は絶縁処理する
廃棄薬品	・廃棄薬品目録を作成し、薬品瓶にリストに対応した番号を付ける（搬入時にリストと薬品を照合する） ・搬入時に破損しないよう工夫する
研究室を出発する前に	・搬入前に、水質管理室に連絡する（常に対応できるとは限らないため）　内線2412、2414 ・廃棄物は極力柵付き台車を利用し、それができない場合は荷紐で台車にしっかり固定する ※大学運営事務部で柵付き台車貸出可能 ↑柵付き台車 ↑台車に荷紐で固定 ・搬入廃棄物の量が多い場合は、軽トラックを各自予約し搬入する 軽トラック レンタル先　：　庶務部庶務課（内線1124）、自然フィールドワークセンター（内線6135） ※含ハロ・含水有機廃液搬入時は、水質管理室に連絡し、軽トラックの予約をする ・時間に余裕を持ち、安全に配慮しながら搬入する

2023.05改